

# 皇太子同妃両殿下

## 千葉大学環境健康フィールド科学センターをご視察

皇太子同妃両殿下は、6月12日、県立柏の葉公園で開催された第27回全国「みどりの愛護」のつどいの式典にご臨席された後、当センターを訪問されました。

柏の葉キャンパスの花弁園芸学研究室が管理する薬草園もご視察の予定に入ることになり、研究室の学生さんと教職員の協力のもと準備を進めました。薬草園内の整備・除草もさることながら、診療所の前にも花卉・苗生産部のさくらさくらシリーズや花壇苗を定植しました。昨年秋に植えられたアーティチョークをそのまま活かした花壇としました。



診療所前の花壇

当日は、徳久剛史学長、木庭センター長がお迎えするなか、午後3時前にご到着され、センター長が案内役となり、診療所内で勝野先生と松本先生から生薬と鍼灸（艾）のご説明を受けられたのち、約350種の薬草や薬木、ハーブなどが植栽されている薬草園を渡辺均准教授がご案内しました。



薬草園の散策

イブキジャコウソウが植栽されている花壇の前では、実際に植物に触れていただきながら、殿下からは、「イブキジャコウソウですね。知っていますよ。良い香りがしますね。いろいろな薬効があるのですね。伊吹山に登られましたか？私も登りました。昔、織田信長が伊吹山の山頂に薬草園を開いたという記録があるそうですね」などとお話しされました。また、妃殿下からは、「いろいろな植物が人々の健康に役立つのですね」というお言葉を頂きました。

約1時間30分に及んだご視察では、多くの場面で質問なさるなど、センターの先進的な取り組みや研究について、深い関心をお持ちいただけました。

平成15年に園芸学部附属農場が改組され、開設された環境健康フィールド科学センターでは、「健康に生きる」をテーマに掲げ、環境健康科学、環境園芸学、東洋医学を主軸とした教育研究を通じて、知の創造と人材育成を行うことで、人々の心と身体を癒す実践の場を地域とともに作り、社会に貢献することを目的として多様な活動を展開しています。

柏の葉キャンパスの花弁園芸学研究室もその一役を担い、花卉や薬用植物を含む健康機能性植物に関する研究や栽培試験に取り組んでいます。

これからも、センターのミッションである人々の健康に役立つ「植物」をキーワードに、花弁園芸学はもちろんのこと、医学や薬学、鍼灸学の先生方と連携しながら研究を進めて行きます。

なお、薬草園は平日の9時30分～17時までと土曜日の9時30分～12時まで一般の方も入園可能でお近くにお越しの際は、お立ち寄り下さい。



渡辺准教授からイブキジャコウソウのご説明をお受けになるご様子